教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび

No.１７５
令和４年１０月２５日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

寒くなりました

放射冷却だったのでしょうか、好天の今朝はグンと冷え込み自宅前に止めている私の車も、屋根やフロントウインドウが凍っていました。北海道に白い季節がやってくるのを実感します。

先週の土曜日は　**種川小学校**　の学習発表会でした。今日と同じ好天でした。外には雪虫が舞っていました。あったかい雰囲気のしっかりした発表会でした。演目ももちろん素晴らしかったのですが、

・演目発表の司会の子も、原稿を手に持たず。終わると観客席から拍手が。
・中学校の先生に指導もいただいたという合唱、声がよく出ていました。
・小規模校の良さ。子どもの活動（活躍）度が大きい。

地域の役員の方にご挨拶して、温かな気持ちで家路につきました。
義務校３校の子どもたちの様子に感激して仕事に戻った２週間でした。

前の週には　**檜山北高校**　の開校５０周年式典関係。記念講演に式典。いずれの場面でも生徒の視線、姿勢の立派さに感服。いい１０月になりました。感謝。

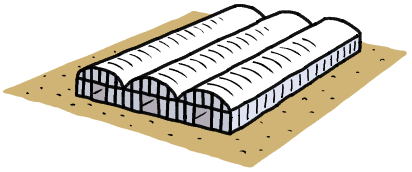
教育委員リレーエッセイ

『　アグリっ子　』

今金町教育委員　　村瀬　一人



芸術・文化そして実りの秋を迎えました。
今年は二度の大雨被害に遭い、農作物が浸水するなど農家にとって難しい年だったなあと感じております。
「農家は何年経っても一年生だ」
まさに先輩の言葉の重みを感じた年でした。
先日、私の母校でもある檜山北高が５０周年を迎えるにあたり、記念式典・講演会に出席させて頂きました。『あぐり王国』でおなじみのチーム・ナックスのリーダー　森崎博之　さんの講演を聴きました。
北海道の農業応援団長を自認する立場から、「子供たちが将来、北海道の農家になりたいと夢が持てる未来をつくりたい」と語ってくれました。
思い出してみると、小学生や中学生の将来の夢などを綴った文集の中で、農業をやりたいと答えた子供は、一人いるかいないかじゃなかったかな･･･。
農業はきつい、汚れるなどのイメージがまだまだ強くあるんだろうと思います。
私も、森崎さんと一緒になり少しでも農業の魅力を伝えていかなければ、と深く考えさせられ、そして頑張ろうと思った一日でした。



つぶやき

『学校教育と社会教育』
思うに学校教育は刹那的な面もあります。寂しいけれど時が来れば出会いと別れがある。
ずっと人と関わり大事にするのが社会教育。生涯学習。
だから今金町は社会教育の町･･･。私がこの町が好きな理由がそこにあります。